

## 十勝の土壌診断技術が海外の人材育成に ～国際機関も注目する土壌診断技術～

### ※開催は延期となりました

JICA 北海道（帯広）が実施する「持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術」コースでは、開発途上国の農業関連機関職員、農業指導者を対象に、高価な機材等がない場合でも持続的農業生産が実現できるよう、土壌診断技術および土壌改良技術の基礎知識と技術を身に付け、自国の課題を解決できる人材を育成しています。

土壌分析、土壌診断を専門とした研修を受ける機会世界的にも極めて少ないため、国際連合食糧農業機関（FAO）の Global Soil Partnership（GSP）および Global Soil Laboratory Network（GLOSOLAN）が、昨年度本研修で作成した動画教材に関心を示し、今年度作成する動画教材を FAO GSP/GLOSOLAN の人材育成に活用することになっています。また FAO を通じて本研修への応募勧奨も行われており、FAO からの講義も本研修で実施する予定です。

本研修をオンライン形式で9～11月に実施するのに先立ち、土壌断面調査についての講義用の動画撮影を下記の日程で実施します。当日は畜大留学生2名（ラオス、モザンビーク）も調査に参加します。

なお、撮影を実施するにあたり JA 十勝清水および清水町内生産者の方にご協力いただくことになっております。

ぜひ取材にいらして下さい。

#### 記

1. 撮影日時：2021年8月6日（金） 9時00分～（予定）  
※雨天の場合または圃場の状態が悪い場合は、翌週へ延期予定
2. 撮影場所：清水町内生産者圃場（2カ所）
3. コース名：課題別研修「持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術」コース
4. コースリーダー：帯広畜産大学 谷 昌幸 教授
5. 参加国：7カ国（計8名の参加を予定）  
（東ティモール、ベトナム、イエメン、ザンビア、ブルキナファソ、ガボン、ルワンダ）

※当日は圃場に入りますので、植物防疫の観点から長靴およびブーツカバーの着用が必須となります。取材いただける場合は、8月4日（水）までに、下記までご連絡いただけます。たら長靴、ブーツカバーの準備をいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
北海道センター（帯広）  
2021年7月30日  
2021年8月4日訂正

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道センター（帯広）道東業務課 担当：小野  
TEL 0155-35-1210 E-mail : Ono.Hisashi@jica.go.jp